

取扱説明書

消防用ホース端末部耐圧試験機 FPT-A1B型

日本消防ホース工業会 TEL 03-3245-1777
芦森工業株式会社 東京防災営業部 TEL 03-3246-7302
櫻護謨株式会社 営業第一部 TEL 03-3466-2181
帝国繊維株式会社 防災統括部 TEL 03-3281-3032

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読み頂いて、正しくご使用ください。

お読みになったあとも、大切に保存してください。

本書に記載した **⚠ 警告** のついた文章は重大な人身事故を生ずる危険が存在する警告であり、**⚠ 注意** は重大には至らないが同様の危険が存在する注意事項です。よくお読みになり安全に使用して頂くために必ずお守りください。

安全のために必ずお守りください

■ 検査の前に

- 次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 **⚠ 警告**
 - 消防設備士などの法的点検有資格者以外の方
 - 酒気をおびた方
 - 過労、病気、その他の理由により、正常な点検作業ができない方
- ねじのゆるみや欠品がないこと、チューブの離脱や破損がないこと、安全弁が 0.7~0.8 MPa の範囲で作動するか等、各部の点検を行ってください。 **⚠ 警告**
異常が生じた場合は、購入先にご相談ください。
- 安全性や機能を損なう恐れがありますので、改造しないでください。 **⚠ 警告**
- 圧力計については、年1回の校正を行ってください。 **⚠ 注意**
校正については、購入先にご相談ください。
- けがをする恐れがありますので、タンク内には手を入れないでください。 **⚠ 注意**
- 呼称40屋内消火栓ホースの点検以外には使用しないでください。 **⚠ 注意**
- 安全性や機能を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水は使用しないでください。 **⚠ 注意**
- 装置をきれいに掃除してください。 **⚠ 注意**
- 点検には、清水を使用して下さい。 **⚠ 注意**

■ 検査中

- 作業中タンク内の水が空にならないよう注意してください。 **⚠ 警告**
※ 空気がポンプ内に入ると加圧できない場合がありますので、十分注意願います。
- 水を入れた状態で、装置を傾けたり、落下させたりしないでください。 **⚠ 注意**
- 加圧した状態で長時間放置しないでください。 **⚠ 注意**

■ 検査後と保管

- ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと水が噴き出します。接続部を取り外す時は、必ず排水弁および給水弁を開放し、ホース内の圧力を抜いてください。 **⚠ 警告**
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。 **⚠ 警告**
※ 直射日光に長期間さらされると表示ラベルが変色したり、剥がれやすくなります。
- 長期間格納するときは、各部をきれいに掃除して安全な場所へ保管してください。
また、凍結破損を防ぐためドレン抜きを完全に行ってください。 **⚠ 注意**

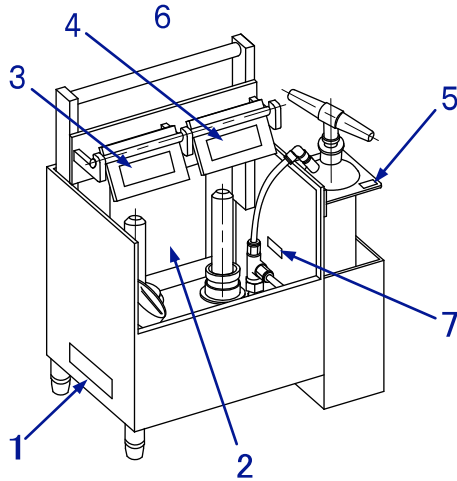
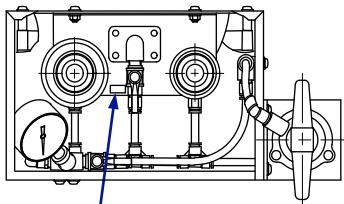
保 証 に つ い て

保証期間はご購入後1年間です。万一保証期間中に、取扱説明書に従った正しい使用状態で故障した場合は、無償にて故障個所の修理、部品交換をおこないます。ただし、交換後の部品はお渡ししません。

※修理には、保証書の提示が必要です。

※詳しくは、保証書をご覧ください。

ラ ベ ル に つ い て



安全な操作を行うため、装置にラベルを貼付しています。装置に貼ってあるラベルが損傷したり、なくなったり、読めなくなったら、新しいラベルに貼り替えてください。⚠ 警告
ラベルは装置の購入先に注文してください。

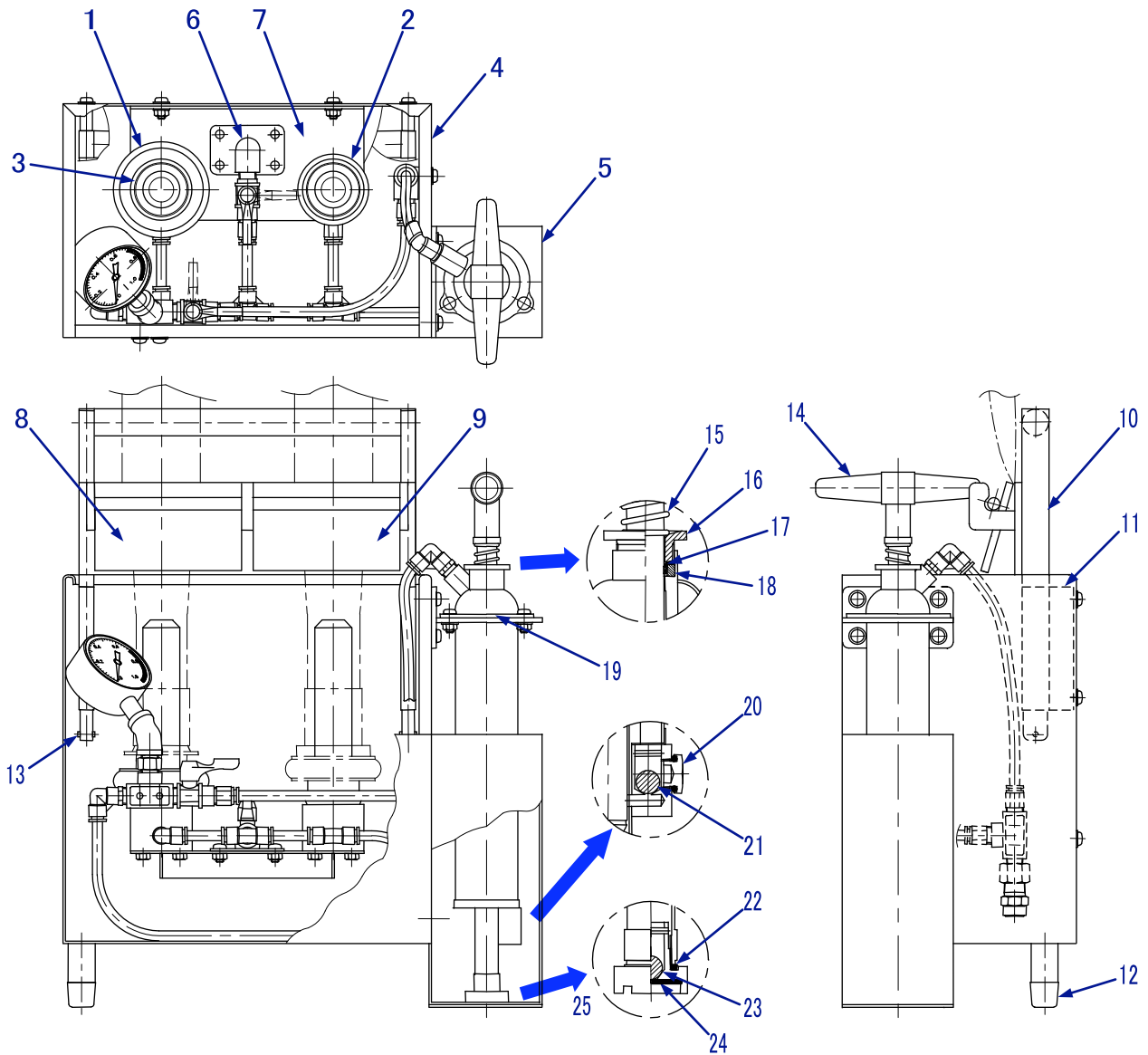
(注文に際してはラベル番号で注文してください)

No.	ラベル名称	ラベル番号
1	評定表示ラベル	104
2	操作手順	103-1
3	左ピンチプレート	103-2
4	右ピンチプレート	103-3
5	ポンプ	103-4
6	排水弁	103-5
7	安全弁	103-6

仕 様

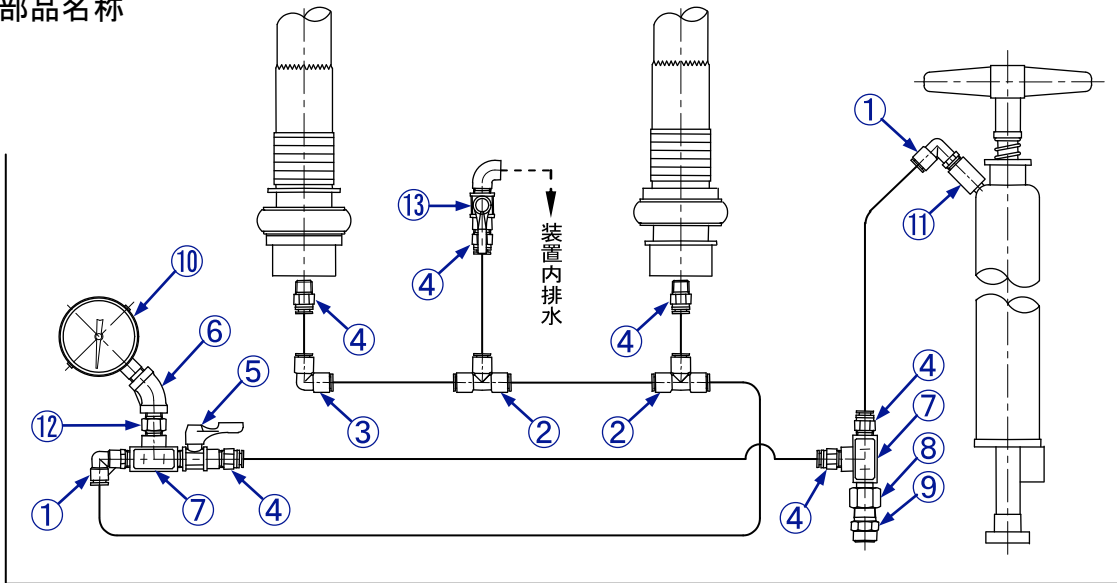
型 式	FPT-A1B
適 用 範 囲	呼称40差込式結合金具付き消防用ホース
耐 圧 可 能 範 囲	ホース両端末から200mm以内
寸 法 (m m) (幅×長さ×高さ)	390×190×490
使用圧力 (MPa)	0.7
装置重量 (kg)	約10

◆ 主な部品名称



見出番号	名称	部品番号	見出番号	名称	部品番号
1	受け金具	110- 1	17	L型パッキン	102- 3
2	差し金具	110- 2	18	ゴムパッキン	102- 4
3	受け金具用パッキン	110- 3	19	空気室パッキン	102- 5
4	ボックス	111	20	吐出弁プラグ(0リング付)	102- 6
5	ポンプベース	112	21	吐出弁球	102- 7
6	ドレンエルボ	113	22	吸入弁パッキン	102- 8
7	金具ベースプレート	114	23	吸入弁球	102- 9
8	左ピンチプレート	115- 1	24	吸入弁アミ	102-10
9	右ピンチプレート	115- 2	25	吸入弁一式	102-in
10	ピンチマウント	116		・ 十字穴付ハネ小杉 M6×L14 (ポンプベース, ドレンエルボ, 金具ベースプレート)	
11	マウントサポート	117			
12	ゴム足	119- 1			・ 十字穴付ハネ小杉 M6×L12 (マウントサポート, 受け差し金具, 圧力計取付)
13	スプリングピン	121			
14	ピストン一式	102- P			
15	ピストンバネ	102- 1			
16	グランド	102- 2			

◆ 配管部品名称



見出番号	名称	部品番号	見出番号	名称	部品番号
1	90° エルボ	101- 1	8	ブッシング	101- 9
2	ユニオンティ	101- 2	9	安全弁	101-10
3	90° ユニオンエルボ	101- 3	10	圧力計	101-11
4	コネクタ	101- 4	11	ソケット	101-12
5	給水弁	101- 5	12	六角ニップル	101-16
6	45° エルボ	101-15	13	排水弁	101- 5
7	ティ	101- 8		ナイロンチューブ	101-13

故 障 と 修 理 方 法

内 容	原 因	処 置
ポンプの動きが悪い	●ピストン、L型パッキンの油切れ	○ピストンの金属部やL型パッキン部を清掃し、少量の潤滑スプレー等を塗布する
ピストンが上がらない	●吸入弁の固着	○ポンプを取り外し、吸入弁内の弁球固着を外す
ピストンが押し戻される	●吐出弁球の固着	○空気室の吐出弁プラグを外し、吐出弁球の固着を外す
圧力が上がらない	●吸入弁取付ネジのゆるみ ●吸入弁へのゴミの付着 ●吐出弁球部へのゴミの付着 ●吸入弁、吐出弁球の摩耗、傷 ●排水バルブの開放 ●給水バルブの閉止 ●水が不足している ●ピンチプレートの変形 ●ピンチ部の止水不良 ●安全弁の漏水	○吸入弁を締め付ける ○吸入弁を外して洗浄する ○吐出弁プラグを外し、吐出弁球を取り出し洗浄する ○新品と交換する ○排水バルブを閉じる ○給水バルブを開ける ○タンク室に水を補給する ○新品と交換する ○背板にゴムシートを当てる ○安全弁の交換
グランドからの水漏れ	●グランドのゆるみ ●L型パッキンの劣化、老化	○充分締め付ける ○新品と交換する
配管接続部からの水漏れ	●ネジのゆるみ ●チューブの接続不良 ●パッキンの劣化、老化	○充分締め付ける ○フィッティングの奥まで確実に差し込む ○新品と交換する
差し込み金具からの水漏れ	●ツメがかかっていない ●パッキンの劣化、老化 ●金具内へのゴミの付着	○金具を奥まで差し込む ○新品と交換する ○金具を外して内部を洗浄する

※上記処置を行っても直らない場合、または上記以外の症状の場合は購入先にご相談ください。